稲作　営農情報

水稲栽培１年のスタート！播種・育苗は計画的に

1. 播種量と育苗日数

●育苗計画（無消毒種子、中苗育苗の例）

田植前日数	45日前	43日前	37日前	35日前（120ｇ/箱播種）		
	塩水選 種子消毒	浸　種	催　芽	播　種		田　植

品　種	塩水選 種子消毒	浸種日	催芽日	播種日	育苗日数	移植日
例　こまち中苗	４月５日	４月７日	４月13日	４月15日	月　日	５月20日
	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日

水温が低い時期の作業は、出芽ムラを助長するほか、播種日も早まって老化苗の原因ともなるので注意してください。

表　播種量別育苗日数の目安

播種量（乾籾）	120ｇ/箱	180ｇ/箱
育苗日数	35日	25日
目標葉数	3.5葉	2.5葉
目標草丈	13～15cm	10～13cm
10ａ当たり箱数	27箱	18箱

2. 種子消毒の手順

①無消毒種子の場合（※採種ほ産種子は、必ずしも塩水選は必要ありません。）

【薬剤処理】
塗沫、湿粉衣
高濃度浸漬（10分間）
低濃度浸漬（24時間）
※薬液は10～15℃確保

→【風乾】効果の安定

→【浸種】
※水温は10～15℃確保
※２日間は水交換しない

②消毒剤吹き付け済み種子の場合

吹き付け済み種子
→ スターナ水和剤（細菌病対策）0.5%、湿粉衣 → 【風乾】効果の安定
→【浸種】

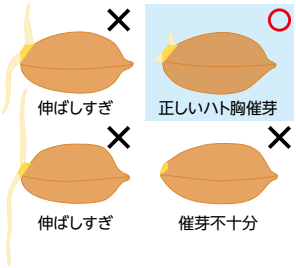
3. 浸種と催芽のポイント

①浸種の水温・水量に注意

種子消毒・浸種は屋内で行い、お湯で水温が15℃になるように調整します。水温が10～15℃を確保できるように、消毒・浸種の開始は早くとも４月上旬からとします。

種子籾を籾袋に入れる際は、一袋当たり４～５kgを目処とし、**浸種水温は10～15℃、浸種水量は種子１kgに水3.5ﾘｯﾄﾙ（50kgあたり175ﾘｯﾄﾙ）**となるように努めます（水温が低いと発芽ムラや種子消毒の効果低下を生じます）。

複数の品種、消毒方法の異なる種子を同じ容器で浸種・催芽しないでください。



②水の交換は適切に

浸種開始後から**２日間は水を交換したり、種子袋を動かしたりしない**でください（この間に種子が消毒されます）。その後は、酸素供給と有害物質除去を目的に２～３回程度水交換をします。浸種終了の目安は、籾殻を透かして胚が白く見えるようになる頃です。

③催芽の前には必ず湯通し

催芽は芽の長さを揃えるために必要な作業です。袋内部の種子まで均一な温度になるよう、**36～40℃の温水で必ず湯通し**を行います。**催芽温度は30～32℃**で、芽の長さはハト胸程度とします。

今月のあなたの運勢（2016年３月）

牡羊座（3・21～4・19）　穏やかな心境で過ごせる期間。自分から積極的にサービス精神を発揮して、周囲との和を大切にすると幸運あり